



# 桜中だより



坂戸市立桜中学校  
令和5年10月3日  
【第6号】

<b>校訓</b> 「自主・澆刺」	<b>学校教育目標</b> 自ら学び心豊かでたくましい生徒の育成	生徒数 1年生 92名 2年生 100名 3年生 113名 全校 305名
----------------------	-------------------------------------	--

## ノーサイド

「ノーサイド」。ラグビーの試合終了を告げる言葉。ラグビーの試合において、延長戦はない（トーナメント戦で、同点の場合は抽選で勝敗を決める）。ノーサイドの笛が鳴ったら、敵と味方の区別はなくなり、互いの健闘を称える（大学のラグビーの試合では、センターラインを挟んで、エールの交換をしている）。競技は、15人でチームを編成する（7人制もあるが）。身長2メートルを超える者もいれば、小柄な者、足が速い者など、その個性に応じてポジションが決まる。中でも最もチームワークが必要とされるプレーがある。背番号でいうと、1番から8番の選手が肩を組み「心を一つに」して相手と組み合う。

「スクラム」である。競技を見たことがない人もいるだろう。そこで、簡単にルールを説明すると、ボールを前に投げてはいけない。前に落としてはいけない。基本「ボールを奪い合い、得点を取る」。相手の陣地（コート）の一番奥のラインを越えて、ボールを地面に置けば、得点が入る。又は、ボールを蹴って、真ん中にあるボールの間を通れば得点になる。得点を取られないために、相手を捕まえる（タックル）。

現在4年に1度のW杯が行われている。ラグビーは「番狂わせ」がほとんどないと言われている。2015年には、日本代表は強豪国南アフリカに勝利し、当時の監督が「歴史が変わった」とコメントしている。3年生は小学校1年生。ある選手のボールを蹴る時のルーティーンをマネした人もいたはず。2019年には、日本で開催され、初めてベスト8に進出。その時のスローガンを覚えていますか。

さて、今大会の代表選手を見た人もいるだろう。ラグビーの代表選手になれる資格には、5年以上その国に居住している。その国で生まれた等いくつかはあるが、国籍の条項はない。生まれた国も育った文化も様々な選手が、国籍など関係ない。選手はその国の代表として、心を一つにして戦う。ラグビーファンは世界には4億人を超えると言われている（私もその1人）。

ラグビーの試合開始前「ウォークライ」と呼ばれる儀式がある。その代表はニュージーランドの「ハカ」。

相手を称え、味方を鼓舞する。相手はセンターラインを挟んで、肩を組み見守る（センターラインを越えると、罰金になるらしい）動画で見られるので1度見ては。そういえば、3送会（本校では3祝会）の部活動の出し物で、「ハカ」をやろうとした先生がいたことを思い出した。

ところで、24日には合唱祭がある。3年生は、クラス単位で行う生涯最後かもしれない合唱を。2年生は昨年から言われていた「パワー」のある合唱を。1年生は初々しい合唱を。クラス「心を一つに」した発表を大いに期待したい。

## 入間北部大会、吹奏楽コンクール、発明創意工夫展、理科展等

坂戸市内技術・家庭科 発明創意くふう展	優秀賞 2人 → 入間地区展 優良賞 10人 銀賞 1人
坂戸市児童生徒作品展 (理科)	銅賞 1人
坂戸市小中学校読書感想文コンクール	優秀賞 2人 → 県審査会へ 優良賞 4人
坂戸市英語弁論大会	3名参加 (2位) (6位)
埼玉県吹奏楽コンクール 西部地区大会	金賞
野球部	優勝 → 県大会へ
男子ソフトテニス部	団体戦→第2位→県大会へ 個人戦→第2位 →県大会へ 第3位 →県大会へ
女子ソフトテニス部	団体戦→第2位→地区大会→県大会へ 個人戦→惜敗
陸上部	女子800m →県大会へ 2年女子100m →県大会へ 男子200m →県大会へ 3000m →県大会へ 女子走幅跳 →県大会へ 2年男子100m →第2位 男子4×100m→第3位
ソフトボール部	惜敗
サッカー部	惜敗
剣道部	団体戦→惜敗 個人戦→惜敗
男子バレーボール部	地区大会→県大会へ
女子バレーボール部	惜敗
男子卓球部	団体戦→優勝→県大会へ シングルス→第2位 →県大会へ ダブルス→優勝 →県大会へ
女子卓球部	団体戦→第3位→県大会へ シングルス→惜敗 ダブルス→第2位 →県大会へ

